

科目区分	専門教育科目	科目名	保育相談支援		科目コード	18Y690	担当者	福井 謙一郎			
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	後期	単位数	1	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
保護者に対する相談支援の内容と方法を理解する。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現考・創造断力	⑤ 実行体性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育相談支援の意義と原則が分かる										
2.	保護者支援の基本を理解する										
3.	保育相談支援の内容・方法が分かる										
4.	幼稚園、保育園、児童福祉施設の保護者支援の実際について理解する					◎	◎	○	◎	◎	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度（50%） 実技試験（50%）					
スライド形式で講義を行う。また、自分なりの考えや対応をグループでの議論や調べ活動を通して発表する。さらには、ロールプレイを通して、保護者支援の実際を学ぶ。											
準備学修						課題等への対応					
保育現場で具体的に展開される様々な相談事例を自分の問題として収集しておく。また、臨床心理学で学んだ内容を復習しておく（4時間）。 復習（全授業を通して5時間）						ロールプレイ時の課題を教員が即時フィードバックする。					
授業計画											
第1回	保育相談支援の意義① 保護者に対する保育相談支援の意義										
第2回	保育相談支援の意義② 保育の特性と保育士の専門性を生かした支援										
第3回	保育相談支援の基本 子どもの最善の利益と福祉の重視										
第4回	保護者支援の実態 保護者への理解①（調査）										
第5回	保護者支援の実態 保護者への理解②（分類）										
第6回	保護者支援の実態 保護者への理解②（発表）										
第7回	保護者支援の実際 アイスブレイク										
第8回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ①										
第9回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ②										
第10回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ③										
第11回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ④										
第12回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ⑤										
第13回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ⑥										
第14回	保護者支援の実際 カウンセリングマインドを用いロールプレイ⑦										
第15回	保護者支援の基本姿勢										
試験	定期試験を実施しない										
教科書	幼稚園教育要領、保育所保育指針				受講生へのメッセージ	保護者との信頼関係の形成には、その人の人柄・人徳など、様々な要因が影響を及ぼします。「この人になら自分の子どもを預けても大丈夫」保護者にそう思われる保育者になれるよう、この授業を通して、今一度自分自身の在り方を見つめましょう。					
参考書等	教材は教員が配布する。										